

## サーチライト With Pastor Jon 創世記 1 章 パート 4

このメッセージはアップルゲート クリスチャン フェローシップの、ジョン・コーソン牧師が公開したメッセージを、アメリカ在住の日本人クリスチャン木下言波が翻訳して YOUTUBE やブログに上げたものを文字化したものです。世界的なインターネット規制が始まろうとしています。私達はその日のために、文字にして紙に記録するのを感じました。また、インターネットに不慣れな方や字幕を追って読むのが困難な方のためにも必要があると主に迫られたと感じます。

※インターネットのメッセージを、文章化するこの働きを始めた姉妹が、現在目を患って治療中です。どうか、りょくさんの為にも、お祈りください。

---

「きょう、もし御声を聞くならば、あなたがたの心をかたくなにはならない。」ヘブル 4 : 7

メッセージ by ジョン・コーソン牧師 アップルゲート クリスチャン フェローシップ

<http://joncourson.com/>

7590 Highway 238 Jacksonville, OR 97530

訳 by 木下言波

DivineUS : <https://www.youtube.com/user/TheDivineUs>

筆記 by Rumi

神は仰せられた。「さあ、人をわれわれのかたちとして、われわれの似姿に造ろう。

こうして彼ら（人）が、海の魚、空の鳥、家畜、地のすべてのもの、地の上を這うすべてのものを支配するようにしよう。」（創世記 1:26 新改訳 2017）

神は人をご自身のかたちとして創造された。

神のかたちとして人を創造し、男と女に彼らを創造された。（創世記 1:27 新改訳 2017）

神は彼らを祝福された。神は彼らに仰せられた。

「生めよ。増えよ。地に満ちよ。地を従えよ。（創世記 1:28 新改訳 2017）

ちょっとここで止まりましょう。

「従えよ」？ 従えよ…

これは罪の前のことです。

神が人を造った後、人の失敗によっておかしくなるのですが、これはその前のことです。

神は人に任務を与えました。「地を従えよ」と。

地を何から、なぜ、従えるのですか？

サタンからです。これが人に与えられた使命だったのです。初めは…。

神は人が失敗することを知っていました。

それでも一番初めに、神はこう言ったのです。

「この地球という小さな石は、わたしと反逆者サタンとの闘いの場になる。

そこで人よ。こうしよう。

わたしはあなたを用いる。

あなたはわたしのパートナーとなり、わたしの計画、プロセスの一部となり、わたしの手足となって地球を従えなさい。そして、敵を追放するのです。」

これが、人に与えられた使命でした。

確かに何よりも優先されるのは、神と交わることですが、その中には、神と共に地を従えるという使命も含まれていて、私たちにはするべき仕事があるのです。

神は人間を必要としません。

しかし神は人間に、神の永遠の目的と計画に関わるという大きな特権を与えました。

神は人に言いました。「あなたは地球を従えなさい。」

どうやって？ 見て下さい。「生み、増やす」ことによってです。

あなたには、家族や自分自身の世界が、敵の手中に握られているように見えているかもしれません。

あなたはどうやって自分の地を、自分の世界を従えますか？

“(実を) 生む” (be fruitful) 聖霊の実は愛。

憶測や噂、あら探し、皮肉や疑いなどという類の言葉ではありません。

家の中で妻に、夫に、友人に、クラスメートに、誰に対してであれ、このような言葉を発する代わりに、愛が豊かに実っている言葉を使いましょう。

“死と生”は“舌に支配される”のです。(箴言 18:21)

愛のある親切な言葉、肯定的な言葉を使って敵を征服するか、それとも批判的な言葉、きつい言葉、バカにした口調の言葉を家族に浴びせて、家庭に地獄の火を吹き込むか。

教会のあら探し、隣近所のあら探し、あれこれ他人の欠点を見つけ回って、全てのことに自分の意見を振りかざし、地獄の火によって自分の世界に火を点けるのか。

ヤコブが「舌は火であり」(ヤコブ 3:6)と語っている通りです。

あなたは多くの実を結ぶこともできるし、脅威となることもできます。

従えることもできれば、悲惨な結果を生み出す器にもなり得ます。

少し前に、家族に対して言ったことの結果を、今、刈り取る羽目になるのです。

お母さんやお父さんが、教会に対して、あれについて、これについて、国に対して、政治に対して、なんやかやと小バカにし、皮肉って自分たちの意見を言っている。

子供たちが絶えず聞いているのは、そういったお母さんやお父さんの言葉なのに、今、親たちは、なぜ自分の子が教会に行かないのか分からない。

だから私は彼らと話をしました。

「あなた方が子供たちに、毒を注ぎ込んだのかもしれない。」

〈そうかもしれない。だけどそれは家庭内のことで…〉

まさしくアダムとエバが「従えよ」と言われたように、あなたは自分の住む世界を従えるべきなのです。

**「生めよ。増えよ。」(創世記 1:28)**

どうやって増やしますか？

**神のことばは、ますます広まって行き、弟子の数が非常にふえて行った。(使徒 6:7)**

いつ増えましたか？ “神のことばが語られた時に”です。

いいですか？ あなたが子供に対して、また友人や近所の人たちと話す時にみことばを語ると、いのちが増し加わるのを見るでしょう。

あなたの愛が、本当の愛が…愛は多くの罪を覆います…ただ愛によって、豊かな実りを見るのです。

そしてその瞬間、あなたが生きている世界は、敵に勝利して取り戻され、征服されます。

一方、あなたがみことばを話さず、愛のあることを話さず、それよりも常にあら探しをして自分の意見を振りかざすなら、家庭に地獄を持ち込むことになり、子供たちやあなた自身の心、あなたの周りの人々が辛辣になって、傷つき、打ちひしがれるのです。

イエスは言いました。**「もしこの人たちが黙れば、石が叫びます。」(ルカ 19:40)**

興味深いことに、私たちが今ではもう知っているのですが、全ての固体は音波の記録を持ち続け、この原理によって CD が作られています。(カセット) テープもそうですね。

同じ原理はこの椅子にも言えます。このマイクにも、私のテニスシューズにも。

「何が言いたいのか？」

イエスが「たとえこの人たちが黙っても、石が叫ぶ」と言った時、今から話すことを示していたのかも知れません。

皆さんにチャレンジします。是非挑戦して下さい。

明日一日、あなたが夫や妻に言った一言ひと言が、全て録音されると思って生活して下さい。全てです。

それは誰に向けて再生されるのでしょうか？ 教会の人たちにです。

挑戦して下さい。明日の金曜日だけ。愉快で恐ろしい金曜日。

あなたの口から出た全ての言葉が、日曜日に教会でみんなに聞かれると思って一日生活してみてください。

更には、この地域全体にも聞かれると思って。

自分が発した言葉が全部録音され、いずれ聞かれると思って生きる。

これが本来の生き方です。

なぜなら、あなたが話す言葉は全て、生か死のどちらかを生み出すから。

これは、まさに真実なのです。実か火か。とてもシンプルです。

「ジョン、どうしてそんなことを言うの？」

それは、皆さんと同じように、私も我が子を思うからです。子供たちを愛しているから。彼らには正しくあって欲しい。

教会である皆さんには正しくあって欲しい。

私自身が正しくありたい。

そして私は気付きました。

私が従えるか、もしくは…私自身が自分の人生と家族の中に地獄を持ち込んで広めてしまうか、だと。

お父さん、お母さんがみことばを語り、神がどれほど良い方か、自分たちが人との交わりや祈りや賛美

をいかに感謝しているか語るのを聞きながら育った子供たちには素晴らしいことが起こります。

彼らは神としっかり繋がり、神を礼拝し、いつも神と共に歩むのです。

しかし他のことを聞いている人たちは、あなたの世界に大打撃を与えることとなります。

従えよ。実を生み出すことによって。つまり愛によって。

増えよ。神のみことばによって。

「アダムとエバよ。これがあなたたちの使命だ。

『地を従えよ。海の魚、空の鳥、地をはうすべての生き物を支配せよ。』(創世記 1:28)

ついで神は仰せられた。

「見よ。わたしは、全地の上にあつて、種を持つすべての草と、種を持って実を結ぶすべての木をあなたがたに与えた。それがあなたがたの食物となる。(創世記 1:29)

また、地のすべての獣、空のすべての鳥、地をはうすべてのもので、いのちの息のあるもののために、食物として、すべての緑の草を与える。」

すると、そのようになった。(創世記 1:30)

そのようにして神はお造りになったすべてのものをご覧になった。

見よ。それは非常によかった。

こうして夕があり、朝があつた。第六日。(創世記 1:31)

私たちの神は素晴らしい。

神はこう言うこともできました。「食べ物!? サプリメントでも取っていないさい。」

それで私に健康食品の大きな店を一軒与えることもできました。

分かるでしょ? 「これがビタミン剤で、これがプロテイン、これは酵素のサプリ。以上。これで生きて行きなさい。」

でも神はそうしませんでした。

「あなたたちは好きな物を何でも食べて良い。全部あなたたちのために造ったのだから。

あとで言うように一つの例外はあるけど、全てあなたたちのために造ったのだ。」

バナナにマンゴー、グアバ、アボガド、トマト、ニンジン、セロリ、様々な種類の物。

その色や食感や味。

それらは人間の罪のゆえに、もはやなくなってしまいました。

しかし最初は全部あつて、神は「さあ、満喫しなさい。心ゆくまで楽しみなさい。」

すべての良い贈り物、また、すべての完全な賜物は上から来る (ヤコブ 1:17)

あなたの一生を良いもので満たされる。(詩篇 103:5)

私たちにすべての物を豊かに与えて楽しませてくださる神 (I テモテ 6:17)

神が祝福して下さった時、「主よ。感謝します。あなたは素晴らしい。」と言いますよね。

イエスは言いました。

あなたがたは、悪い者ではあつても、自分の子どもには良い物を与えることを知っているのです。とすれば、なおのこと、天におられるあなたがたの父が、どうして、求める者たちに良いものを下さらないことがありますしょう。(マタイ 7:11)

私は悪い者ではありますが、我が子にプレゼントをあげるのが大好きです。

御父は、自分の子供たちに良いものを何でも与えたいと言いました。

「だったら、どうして私はまだ受け取っていないんだ!? 長い間、ずっと待っているのに。」と言いたい  
ですか？

だとしたら、それはあなたにとって良いものではないのでしょうか。

良いものなら与えられます。

それがあなたにとって良いものなら、神は完璧で良いものを全て与えます。

聖書に書いてある通り、神は、神を愛する者には全ての良いものを与える方。

あなたも私も神を愛しています。

だから、神は全ての良いものを私たちに与えるのです。

もしあなたが望んでいるものをまだ受け取っていないとしたら、神の目から見ると、それは今のあなた  
にとって良いものにならないのでしょうか。

良いものにはならない…

神は言っています。「わたしは地を従えるために人を造り、同時に祝福を与えた。」

「これら全てのものは、あなたへのプレゼントだ。今日、あなたが楽しむために。」

### こうして、天と地と (創世記 2:1)

今日は、それほど飛躍しないのでご心配なく。

こうして、天と地とそのすべての万象が完成された。(創世記 2:1)

それで神は、第七日目に、なさっていたわざの完成を告げられた。

すなわち、第七日目に、なさっていたすべてのわざを休まれた。(創世記 2:2)

神はその第七日目を祝福し、この日を聖であるとされた。それは、その日に、  
神がなさっていたすべての創造のわざを休まれたからである。(創世記 2:3)

最後に…今夜ここを出る前に…

神は7日目に休まれました。

だから、あなたも私も…私たちも休まなければなりません。

後になって、神がご自分の民イスラエルに言ったことを知っていますか？

これは重要なことです。

「命は尊い。だから、殺してはならない。」

「(人との) 関係は尊い。だから、姦淫してはならない。」

「両親は尊い。だから、敬いなさい。」そして、

「休養は尊い。だから、安息日を守りなさい。」

知っていましたか？

シナイ山で律法、つまり、いのちの尊さを示した十戒が与えられた頃は、地球上のどの民族にもどの文  
化にも、休みを取るという習慣はありませんでした。

誰一人として考えたこともなく、誰も休みを取ったことはありませんでした。

昔は休日なんてなかったのです。

「ありがたい。金曜日だ！ やれやれ、休みだ…」そんなことを考えたこともなかった。

農業を営む者にとっては現実的ではないし、不可能なことで、「休日なんて取れない」

すると神は、「人々よ。わたしはあなたたちに休んで欲しいのだ」と。

これは律法ではありません。律法以前の、創造物語の中に書いてあるのです。

いいですか？

7日の内の1日、休みを取るとするのはとても賢明なことですよ。

全く何もせず、ただ休む。

リラックスして、そして神がして下さった良いことをじっくり思い返しながら、家族との関係を回復させ、神のわざを喜び楽しむ。

休んで、リラックスして、思い返して、回復させ、喜び、楽しむのです。

ところがあなたは言うでしょう。「私は疲れていない！ 疲れてなんかない！」

神は7日目に疲れていたのですか？ 神が「やれやれ、疲れた…」と言いましたか？

「ああ、疲れた！ まったく、この創造作業は実に疲れる!!」

神はそんなことを言って休んだのですか？

神は疲れていませんでした。でも、あなたと私に言っているのです。

「わたしはあなたのお父さんだよ。7日の内1日、休みなさい。その日を特別な日として、いつもとは全く違うことをしなさい。これが、人生を成功へ導く秘訣なんだ。」

〈いや。俺は先に進むんだ！ 7日目の安息日に、その特別な日が何であれ、ほんの少し働くなら俺は成功するんだ!!〉

**NO!** そうできると思うでしょうが…

昔、フラムオイルフィルターのコマーシャルがありました。

車のエンジンを視ていた修理工がフラムオイルのフィルターを引き剥がして手に持ち、「オイルフィルターに今、6ドル払いますか？ それとも車が壊れて全てめちゃくちゃになってから払いますか？」

私はいのちを見守る者として、聖書教師として、20年以上（1994年当時）牧師をしている者として、皆さんに真実を伝えます。

もしあなたが安息日を守らなければ、いつか悪い結果がもたらされるでしょう。

精神的に嫌気がさして来て、デリラの膝に頭を預けたサムソンのようになる。

彼はウンザリしていた。疲れ果てていたのです。

長い髪に包まれたサムソンがどうやって寝ていたのか、と考えたことはありませんか？

彼はへとへとに疲れて、とてもシンプルなことを正しく考えることができなくなっていました。「安息日なんかいらぬ！ 俺は兵士だ。」

盛り上がった上腕の筋肉、アイスホッケー選手のような肩、数十年に亘ってイスラエルを裁いてきた。そして、デリラの膝枕でしくじる。

私は、7日に1日の休みを拒んだために、健康を損なった人たちの事例をたくさん見てきました。

特に男性が失敗するのを。

誰一人として例外はなく、今日も例外はなく、特に男性が失敗しています。

なぜなら疲れているから。なぜなら安息日を守っていないから。

そして気が付くと、デリラの膝に頭を預けている。

彼らは精神的にも肉体的にも支障をきたすでしょう。

私たちは「休まなければならない」と“命じられた”のではなく“与えられた”のです。

「(今日は) いつもの仕事はしない」「(今日は) 働かない」「(今日は) 造らない」

「リラックスして休養して元気を取り戻し、家族との生活を回復しよう」

「いつもとは全然違う日にしよう。」

「コンピューターを終了して電源を切ろう。私にとっては簡単なことではないけれど。」

私は、神が与えた通りにしなかったために、様々な形で肉体的な問題が起こるのを見てきました。

私は安息日を守らなかったために、多くの人が精神科を受診し、あらゆる種類の治療や投薬を受けているのを見てきました。

彼らは精神的に煮詰まってしまって、まっすぐに考えることができません。

私は多くの人が霊的に墮落していくのを見てきました。

「さあ、週末だ！ あれをしよう！ これをしよう！ あそこへ行こう！」

そして突然…霊的に崩壊する。

神は言います。

「1日を分けて、完全にわたしに献げる日としなさい。それは本当に良いことだから、そうして欲しい。リラックスして休み、元気を回復して喜び、よく考え、家族との時間を大切にして、その日を特別なものとしなさい。」

私は何も、すべき事やするべきでない事をあれこれ言っているのではありません。

そういうことは、私が思うに、当時のパリサイ人が犯した過ちで、彼らは様々な規範を法制化しようとしました。

しかし、神が定めた規範は健康的なものです。

また実践的で、現代の私たちの生活にも十分適用できるものです。

その中の一つで、たまに質問されることは「ジョン、家族計画をどう考えますか？」

時々こういう質問を受けることがあります。そう頻回ではありませんが。

そして最近、聖書の中にその答えをみつけました。

色々な考え方があることは、私も勿論承知していますよ。

その上で、これが私の考え方です。

神が私たちを創造した。

そして神はあなたや私に、奇跡的な創造の能力を与えられた。

私たち一人ひとりに、大部分の領域に於いて奇跡を行う能力が与えられました。

創造の奇跡、生殖の奇跡、つまり子供を生み出すという奇跡。

これは、神が人間に与えた驚きの奇跡です。

神が創造し、そして私たちに創造する能力を与えたのです。

6日後に神は、ご自身が造ったものを見て「非常に良い。これで十分だ」と言いました。

(創世記 1:31)

神はネタ切れだったのでしょうか？ いいえ！

神は造り続けることができましたか？ もちろん！

でも神は言いました。「これで十分だ。素晴らしい。」

そこで私は創造…生殖について、こう考えるのです。

私たちも御父の見本に倣うべきだと。造られたものを見て「これで十分」

私たちは造り続けなければならないのだ、とは思いません。絶対に思いません。

私たちは御父の足跡を辿って行き、霊的な導きに注意を向けて理解し、神を求め、心に焼き付けて神に従い、そして同じように言うのです。

「良い。すごく良い！」そして…「造るのを止めよう。」

ということで、私は、家族計画はクリスチャンにとって正当な選択である、と固く信じています。

私の父も創造を止めた…

少し補足すると、このような考えを信じないで特定の信念を受け入れている人たちも、3人、4人と子供が増えて来ると、面白いことに、その多くが突然、自分たちの神学を変え始めます。

本当にびっくりしますが、今までたくさんの人たちが「あなたのそんな考えは信じない。私たちは神が与えた人数だけ子供を…」と言いながら、5人、6人と生まれると「…ちょっと私も意見を考え直そう…」何てことを言い始めるのです。

ところで、私が固く信じているのは、特定の避妊法は、創造のプロセスを止めるのに効果的ですが、別の避妊法は、創造のプロセスを殺してしまうということ。

これ以上詳しく言いませんが、ただ皆さんに注意を促したいのです。

避妊にも創造を防ぐものと破壊してしまうものがある。

そのことをくれぐれも警告しておきたい。気をつけて。

「心に満ちていることを口が話すのです。

良い人は良い倉から良い物を取り出し、悪い者は悪い倉から悪い物を取り出します。

わたしはあなたがたに言います。人は、口にするあらゆる無益なことばについて、さばきの日に申し開きをしなければなりません。

あなたは自分のことばによって義とされ、また、自分のことばによって不義に定められるのです。」

(マタイ 12:34b - 37 新改訳 2017)